

様式第5号

出張調査報告書

令和5年8月7日

松伏町議会議長 増田 等 様

会 派 名 自民クラブ

代表者氏名 佐藤 永子

下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	令和5年8月3日の1日間
2 視 察 地	(1) 群馬県前橋市 道の駅・まえばし赤城 (2) 茨城県常総市 道の駅・常総
3 視 察 目 的	(1) 道の駅の建設構想からの観光 (2) 賑わいや商品の品ぞろえ等
4 視 察 者 氏 名	佐藤永子議員 (代表) 高橋昭男議員 田口義博議員 増田 等議員 砂川清時議員
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

## 自民クラブ行政視察行程結果

- 1 期 日            令和5年8月3日（木）の1日間  
 2 視察先           群馬県前橋市      道の駅・まえばし赤城  
                      茨城県常総市      道の駅・常総

### 3 行程&スケジュール

日 時	内 容	備 考
8 : 00 (出発)	せんげん台駅で合流 🚗で移動	田口（バス）せんげん台駅へ 車にて各議員宅⇒駅前まで レンタカー会社駐車場に止める。
1 日目 (8/3) 木曜日	国道4号バイパス 北関東道を経由  前橋市 道の駅まえばし赤城 <b>視察</b> 担当者より事業概要と 駅内の施設それぞれ説 明を受ける  🚗で移動	※駅内で昼食
15 : 10	道の駅 常総 <b>視察</b>	
16 : 10	🚗で移動	
17 : 30	せんげん台駅で解散	

渋滞により到着に支障を期したが、前橋市の関係者との視察を実施することができた。

視察研修先（前橋市）へは、事前に質問事項等を送付してあったので、あいさつ後、フードコート2階会議室にて説明を受ける。

## 経緯

平成24年・25年度	上武道路沿線にて道の駅設置検討開始
平成26年度	設置懇談会において取り組みテーマ・候補地決定 基本構想策定
平成27年度	施設の機能や規模の検討 候補地への説明会実施
平成28年度	PFI事業者公募開始
平成29年度	公募による優先交渉権者の決定 PFI基本協定締結
平成30年度	基本計画策定・PFI特定事業契約締結 施設設計開始
令和元年度	道の駅整備に関する国土交通省との一体型整備協定締結
令和2年度	用地買収完了 施設設計完了 建設工事開始
令和3年度	設置管理条例制定
令和4年度	建設工事完了 道の駅管理に関する国土交通省との協定 締結 道の駅開業

## 施設概要

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| (1) 施設名称   | 道の駅まえばし赤城                    |
| (2) 所在地    | 前橋市田口町36番地                   |
| (3) 敷地面積   | 71,655.44㎡（国土交通省整備分含む）       |
| (4) 建築面積   | 7,429.73㎡（国土交通省整備分含む）        |
| (5) 延床面積   | 8,151.46㎡（国土交通省整備分含む）        |
| (6) 構造規模   | 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上1階（一部2階） |
| (7) 指定管理者  | 株式会社ロードステーション前橋上武            |
| (8) 指定管理期間 | 令和5年1月21日～令和20年3月31日         |
| (9) 主な施設内容 |                              |

### 施設名称

### 概要

駐車場	小型車414台 EV車2台 大型車75台 自動二輪29台 従業員用70台
公衆トイレ	24時間トイレ
情報発信施設	道路利用者への情報発信

**観光案内所** 市内の観光案内  
**福祉ショップ** 障害者の自立及び就労支援  
**災害施設** 防災備蓄倉庫  
**温浴施設** 道路利用者の休憩施設  
**会議室** 会議や屋内イベントで使用（最大70名）  
**調理室** カルチャースクール等で使用  
**屋外広場・マーケット広場・芝生広場・屋外ステージ** 屋外イベントで使用  
**農畜産物直売所** 前橋産の農畜産物をメインに販売  
**物産販売所** 地元の地産品、6次産業化商品等の販売  
**24時間コンビニ** 道路利用者の利便性向上のため、24時間営業の物販  
**生鮮食料品販売施設** 新鮮な日常食料品等の販売（地元要望から）  
**サイクルステーション** 自転車のレンタルや観光ツアー等のサービス提供  
**フードコート店舗・加工施設** 地元企業を中心とした飲食物提供  
**カフェ** 道路利用者の休憩のための飲食物提供施設  
**地産レストラン** 地場産食材等を使用した飲食物提供施設  
**コンテナショップ** 地元企業を中心とした飲食物提供施設（応募2社決定）  
**エネルギー供給施設** 災害に強い中圧管ガス供給による充電施設  
**災害対応型ガソリンスタンド**  
 道路利用者の燃料供給及び災害時のエネルギー供給

## 事業費・財源

道の駅整備費 ※国土交通省整備分は除く (千万円)

	前橋市	P F I 事業者	合 計
道の駅施設	325	71	396
造成工事費	72	8	80
施設用地費	95		95
合計	492	79	571

### 活用財源

- ・訪日外国時旅行者受入環境整備緊急対策事業補助金 約500万円
- ・地域活性化事業債（交付税措置30%）24億円
- ・一般事業債（交付税措置無し）19.8億円



## 整備・運営手法

国事業・独立採算型PFI・公設民営の場合

① 国土交通省との一体型整備

24時間トイレ 道路休憩施設分駐車を国土交通省が用地買収・施設整備

② 整備運家の独立採算施設

温浴施設、24時間物販施設、カフェ、エネルギー供給施設、生鮮食料品販売施設、ドックラン等 ※事業者が負担

③ 運営の独立採算施設（整備を市負担）

農畜産物直売所 物産販売所 サイクルステーション 地産レストラン  
フードコート店舗・加工施設 コンテナショップ 屋外ステージ 農園

④ 市事業

駐車場、芝生広場、防災施設、消防団詰め所、管理事務所、観光案内所、屋外広場、ラウンジ、会議室、調理室、地域振興トイレ、福祉ショップ、マーケット広場等

## 道の駅 まえばし赤城

2023年3月21日オープンした。

収容台数 約500台

第1駐車場は国道側から 第2駐車場は市民が市道を中心に進入する形態。

## 質問事項は以下のとおり

- 1 市内4店舗にも拡大された計画は、道の駅構想の段階からの事業としていたのか。
- 2 施設内容と規模、建設事業費に対する国・県等の補助金、地方債は。
- 3 運営主体と年間目標売上額はどのくらい。仮に赤字になった場合、市の対応は。来場者数の推計から一人当たりの購買額をどのように見ているか。
- 4 まえばしの道の駅は「自然の恵みを感じる道の駅」とした特徴は。
- 5 農産物の中で、道の駅販売に新たに開発（農家に）したものはあるのか。

## 回答

質問1 新市長誕生の令和24年から道の駅の検討に入り、「道の駅まえばし赤城」が令和4年度開設された。他の施設は従前からの施設を充実させた結果、それぞれの特色を持った道の駅を作り上げた。

質問2 上記で示したとおり

質問3 目標額の設定は無い。委託事業ではないので赤字補填は無い。  
上武道路の交通量40000台/日を想定する中で、この3か月間の来場者は100万人を達成する。(計画80万人)  
営業利益が出た場合、指定管理者のみが1/2を市に寄付する。

質問4 取り組みのテーマは、ここにしかない赤城を味わい、ここでしかできない赤城を体験する。  
事業コンセプトは、前橋タウンリノベーションの核となるモノ×コト×ヒトの結節点としての新しい道の駅、平日・休日問わず日常的に賑わう道の駅を達成。

質問5 40品目以上の品ぞろえで地場産品を提供。酪農が盛んで生乳も人気。特にないよう。

## その他、現地での質問

場所の選定、安全性は高くないか。 浅間山、赤城山、草津白根の3山の降灰は無かった。水害のリスクは3m未満とし、重要保安施設は高い場所に設置。

担当者からは、行政財産としての意味合いもあるので、15年間管理をしっかり見守っていく必要がある。

## 説明者

文化スポーツ観光部観光政策課 道の駅推進室長 柴崎 徹氏  
同係長 黒岩 亮氏



入口・出口はそれぞれ自動ドア



フードコート2階の休憩所

道の駅・常総は、時間の関係から各自目視等により、賑わいや品ぞろえ等の視察を行う。

平日の3時過ぎという時間帯ではあったが、道の駅の名物「メロンパン」の購入に行列が途切れないほどの来場者。賑わいは終日続いていた。

地元の野菜や加工品、生鮮食品特に肉類には、人気があるように見えた。



メロンパンに人だかり



常総の駅舎

